

四月は「桜」や「お花見」を思い浮かべますが、見ごろは一週間程度であるため、状況に忘れて、花便り↓満開↓散り始め↓葉桜などと表現を変えていく必要があります。山菜や若葉、日差し、菜種梅雨など春を感じるものは他にもいっぱい。下旬になるとゴールデンウィークに触れるのもいいでしょう。時期や相手に応じて春を表す言葉を選び、気軽に「春らしい手紙」を書いてみましょう。

知人・友人に宛てた一般的な手紙にも、少し柔らかな表現で「春」や「桜」を楽しむニュアンスを加えると、季節感が出ます。

桜の便りが次々聞かれるようになりました  
春風が心地いい季節となりました  
近所では桜が満開となりました  
花冷えの時節柄、どうぞご自愛ください

(ウーマンライフ 手紙の書き方 抜粋)